

### ■地域課題について 地域審議会が提言

5地域の地域審議会は3月23日、それぞれの地域課題に対する提言などをまとめ、市長に提出しました。

この提言は、地域審議会が2年間の任期を終えるのにあたりまとめられたもので、それぞれの審議会が重要な地域課題とし

て位置づけてきた項目を盛り込んでいます（下表）。今後、これらの提言は、市の施策として検討されます。

全文については、市ホームページ、各総合支所地域支援課で閲覧できます。

第2期地域審議会提言(まとめ)内容

審議会	項目
豊科	土地利用制度について 本庁舎等の建設について 公共交通システムについて 豊科交流学習センターについて 安曇野赤十字病院について
穂高	しゃくなげ荘改築と周辺整備について 河川・水資源について 道路の整備について
三郷	土地の秩序ある開発・利用を図る 畜産に伴う臭気問題への取り組み強化 黒沢川の治水・利水対策の解決 過大規模校三郷小学校の適正化への研究・検討 室山やリングを活かした観光の推進
堀金	堀金総合支所の空き部屋の有効活用と図書館について 第3セクターについて
明科	JR明科駅前周辺整備 明科総合支所の敷地を活用したコミュニティ複合施設整備

### ■男女共同参画 推進活動が本格化

市男女共同参画推進審議会の初会合が3月25日、県安曇野庁舎で開かれました。

この審議会は、今年1月の条例制定を受け設置したもので、これにより推進体制がさらに強化され活動が本格化します。

委員は、公募による5人を含む

む20人で構成され、山田安子さんが会長に、尾台頼一さんが副会長に選出されました。

平林市長はあいさつで、「厳しい経済状況が続くが、そのような状況だからこそ、どうしたら充実した人生を送れるか、この地域をどうしたいかを考えて

いくことが必要。男女共同参画はそのための重要なキーワードとなる」と述べ、山田会長は「計画の実現に向けて力を尽くしたい」と審議会を進める上での抱負を語りました。

審議会は当面、男女共同参画の推進にかかわる施策の検証や課題の把握などを行い、必要な場合には、市長に提言を行う予定です。



20人に委嘱状が手渡された

### ■有明の森保育園、有明あおぞら保育園が開園



有明あおぞら保育園入学式 (4/6)



有明の森保育園

市内各保育園の入園式が4月6日に一斉に行われ、昨年8月に建設工事を着手した穂高有明の2つの保育園でも入園式が行われました。

ほぼ園舎が完成した「有明の森保育園」には132人が入園し、3月末に完成した「有明あおぞら保育園」には118人の園児が入園しました。

両保育園は、旧有明保育園が園児数の増加や老朽化に対応するため、2つの園に分けられた

ものです。有明の森保育園は旧有明保育園の敷地に、有明あおぞら保育園は穂高西中学校の北側に建設され、名称は子どもたちの健やかな成長を願い、保護者代表も入った「有明保育園名称検討会」によって名付けられました。

有明の森保育園は今後、遊戯室やプール、周辺工事を経て9月に完成予定。また、有明あおぞら保育園では、来月中旬にしゅん工式が行われます。

### ■漆久保トンネルをお披露目

旧篠ノ井線の廃線敷にある漆久保トンネルの開通式典が4月8日、現地で行われました。

このトンネルは、昭和63年に現在の篠ノ井線に路線が切り替わった後から、長らく大きな鉄の扉で閉鎖されてきました。

しかし、ここ数年増加してきた観光客やウォーキング愛好家、地元の潮沢区と廃線敷の管

理をしている潮沢区のボランティア組織「ケヤキの道」などからの要望を受け、市が扉の撤去やトンネル内部の補修・周辺の整備を行い、あらためて開放しました。

この日、新たな開通を記念し地元主体で行った式典には、約80人の市民や市の関係者、観光協会役員などが参加し、テー

プカットをして開通を祝いました。

潮沢前区長の小林忠孝さんはあいさつで「将来は安曇野の憩いと癒しの場としていきたい。それが観光にもつながれば」と期待を語りました。

式典の後にはさっそく参加者全員でトンネル内を散策。地元の方や関係者は、蒸気機関車が通っていた当時のことを語り合い、それぞれの思い出に浸っていました。



赤レンガに覆われたトンネルの前でテープカット